



すさき

社協だより

第159号

令和7年1月号

令和7年(2025)1月1日発行
 編集発行
 須崎市社会福祉協議会
 〒785-0007
 高知県須崎市南古市町6-3
 (0889)42-0736(代)
 FAX 42-7876
<https://susaki-syakyo.or.jp>
 印刷 有限会社 笹岡印刷所
 42-0244



新年あけましておめでとうございます。

社会福祉法人須崎市社会福祉協議会

年頭のご挨拶

会長 西村 貴尚

市民の皆様におかれましては、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げますと共に、昨年中は須崎市社会福祉協議会の諸事業に対しまして、深いご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。

令和6年能登半島地震において、お亡くなりになられた方々に哀悼の意を表すとともに、被災された方々に心からお見舞い申し上げます。

さて、須崎市を取り巻く環境に目を向けますと、少子高齢化の進行や過疎化に伴う人口減少、物価高騰による厳しい経済情勢等により、地域住民の皆様の生活上の課題や困りごとなどは、ますます複雑化・多様化しています。

そうした中、令和6年3月には須崎市におきまして、山や海の恵、人々のつながりを大切に、市民みんなで助け合うまちをつくることを目標に5か年計画である「第4次須崎市地域福祉計画・第3次須崎市地域福祉活動計画」が策定されました。これらの計画を着実に実行していくためには、市行政をはじめ、各地区社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会、市内の社会福祉法人や老人クラブ連合会等、地域福祉を推進する団体が連携・協働し、地域住民の皆様の生活上の課題や潜在的ニーズを受け止め、地域を基盤とした解決につながる支援やその仕組づくりが重要だと考えますし、これからの社会福祉協議会は、「地域共生社会」の実現に向けた協働の中枢を担う組織として、その役割と機能を発揮することが期待されていると感じています。

私ども須崎市社会福祉協議会は「住民の誰もが安全で安心して暮らせるあたたかい福祉のまち」を目標に、役職員一丸となって様々な事業・活動に取り組んで参りますので、市民の皆様の更なるご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、本年が皆様にとりまして希望の持てる飛躍の年となりますことをお祈り申し上げます。

令和7年1月



(令和6年12月現在)

本年もよろしくお願いたします
須崎市社会福祉協議会 役職員一同

- | | | | | | | | | | |
|-----------------------|--|----------------------|---------------|------------------------|---|---|---|--|---|
| 副会長
石見 圭一
森田 知性 | 理事
竹本 一喜
岡田 要助
高橋 晶子
竹内 正昭
北川 洋子
山岡 伸也 | 監事
正木 直夫
戸梶 正人 | 事務局長
森本 智宏 | 地域包括支援
センター
中川 剛 | 生活支援・総合
相談センター
ほっと
橋本 真記
近藤 大地
嶋崎 碧
笹岡佳世子
大和田広志
古谷 公宏
井上 隆史
溝渕 尚子
橋田 憲仁
田邊 玲佳
山口 純奈
中山 理紗 | 総合相談支援係
下元 京
小嶋沙弥香
佐々木真紀
野久保玲美
高橋佳代乃 | 地域福祉推進係
松本 幸輔
伊藤 睦樹
相馬 令紗
田井美千代
森光 美二
笹本 志保 | 介護予防支援係
濱 晃
松田まゆみ
福井亜希子
岡田 絹恵
中野米紀子
林 美紀
井上 隆子
藤澤 雛子 | 在宅福祉係
西田亜希子
宮本 圭子
伊與木加代
西村 修
岡崎 智子 |
|-----------------------|--|----------------------|---------------|------------------------|---|---|---|--|---|



ロバのマークを見たことがありますか？



ロバ隊長とは

認知症サポーターキャラバンのマスコットキャラクターです。

「認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを目指す」認知症サポーターキャラバンの隊長として、「ロバのように急がず、一步一步進んでいこう!」

という意味が込められています。

須崎市地域包括支援センターでは、「住み慣れた地域で自分らしい暮らしができるまち」を目指して、地域づくりに向けて取り組んでいます。

認知症は「5人に1人」がなると言われており、誰もがなる可能性のある病気です。認知症の進行や症状は人それぞれですが、その進行には周囲の関わり方が大きく影響しています。そのため、住民一人ひとりが認知症を正しく理解すること、地域でお互いを支える仕組みがあることが、安心して過ごせる須崎市を作るには必要です。認知症の人にも優しいまちづくりのシンボルとして「ロバ隊長」を須崎市に広めていきたいと取り組んでいます。

認知症サポーター

認知症サポーターとは…

認知症の方を正しく理解し、誤解や偏見を解消し、認知症の方やご家族を応援する地域の応援者。

○サポーター養成講座を受講した方がサポーターになることができ、オレンジリングや、ロバ隊長のバッジが配られます。

○興味のある方は包括支援センターまでご連絡ください。



認知症サポーターステップアップ研修

今年度初めて実施しました。民生委員さん、郵便局、四国銀行、長寿介護課、認知症家族の会、あったかふれあいセンターの職員、社協職員と多くの方に参加していただきました。認知症に対する理解を更に深め、どのように活動するのかを学びました。

○受講者には、ロバ隊長バッグが配られます。



～令和7年4月から短期集中予防サービス(通所C型)が始まります～

短期集中予防サービスとは、理学療法士・作業療法士などのリハビリ専門職が、日々の生活で少しずつ難しくなってきた活動を取り戻すため、個別プログラムにより短期間で集中的に身体機能・動作能力の改善を目指し、《個人の目標達成》に向けた自立支援を行うサービスです。3ヵ月間で12回(週1回)指定事業者のもとへ通所していただきます。送迎付・無料です。運動だけでなく、栄養やお口の健康についてもアドバイスを受けられます。詳しくは、広報すさき令和7年1月号をご覧ください。



【お問い合わせ】須崎市地域包括支援センター ☎0889-42-1206

日常生活自立支援事業をご存じですか？



どんな人が利用できるの？

認知症高齢者、知的障害者、精神障害者の方などで、自分ひとりで福祉サービスの契約などの判断をすることが不安な方や、お金の出し入れ・通帳等の書類管理など、日常生活に必要なことについて不安のある方が社会福祉協議会と契約することで利用できます。

※ご利用者様ご本人に利用意思、利用契約をする判断能力があることが必要です。

利用料金

○訪問などによる支援

1時間 1,500円

○書類の預かりサービス

1年間 6,000円

お気軽に
お問い合わせください。



【お問い合わせ】須崎市生活支援・総合相談センターほっと 0889-40-0358

訪問介護ヘルパー募集中！

資格要件	介護職員初任者研修(ヘルパー2級)以上
仕事内容	生活援助(買物、調理、掃除、洗濯等) 身体介護(排泄介助、入浴介助、移乗等)
賃金	時給1,100円から【処遇改善加算手当、 勤続年数による時給UP】



有給休暇あり 勤続6年～最大付与20日 半年勤務で最低1日以上
(※働く時間日数等で付与日数は変わります)

週間シフトによる勤務のため、ご希望の休みや有休も取得しやすい環境です。
詳細は面談にてご説明いたします。お気軽に電話にてお問い合わせください。

【お問い合わせ】指定訪問介護事業所 0889-42-0789

須崎市老人クラブ連合会 ～活動紹介～

須崎市老人クラブ連合会では、毎年秋頃に「いきいき芸能大会」と「いきいき体育大会」を開催しています。今年もたくさんの会員の皆さまが参加し、両大会が開催されました。

いきいき芸能大会

9月25日に須崎市立文化会館にて開催をしました。
日頃から自らの健康・生きがいのために練習をしている歌や踊りなどを披露し、地区を超えて会員同士の交流を図りながら参加者全員で楽しい時間を過ごしました。



いきいき体育大会

10月30日に多ノ郷体育館にて開催をしました。
須崎・多ノ郷・上分・新荘・南・吾桑の6地区に分かれて、各チームの元気な応援が飛び交う中、7種目の競技を行いました。今年度は、優勝・吾桑チーム、準優勝・上分チーム、応援特別賞として南チームが受賞をしました。
参加者が少ないチームもありましたが、他のチームから助っ人として出場したりして、地区の垣根を越えて楽しく競技を行いました。



競技・ジャンケン関所
競技者は関所の番人に
ジャンケンで勝つまで
帰れません！



休憩時には応援
合戦が開催されま
した。
どのチームも大会
を盛り上げて下さ
いました。



～福祉教育＝車椅子ラグビー体験活動について報告～

11月8日須崎市立安和小学校にて、車椅子ラグビーチーム freedom 選手4名を講師として車椅子ラグビー体験を行いました。

この活動は福祉教育の一環として、障害者スポーツを通じて当事者の方々と触れあう事により障害への理解を深めると共に、今回の体験をきっかけに地域の一員としてボランティア活動や福祉活動に対する関心を高めてもらう事を目的としています。

体験後は質疑応答の時間を設け、子どもたちからは車椅子になった経緯や車椅子生活になって変わった事などの質問があり、それに対して選手のみなさんはとても丁寧に答えて下さっていました。

今回の福祉体験には近隣の福祉施設利用者や職員、保護者の方など地域住民の方も応援に来て下さり、車椅子ラグビーを通じて『福祉教育』に拡がりを感じる事が出来ました。



パリパラリンピック
金メダリスト池 透暢選手も
講師で来てくれました。



令和6年度須崎市生活訓練等事業(「料理教室」の開催)

障害のある方が、家庭で気軽に作れる料理や栄養バランスのとれた食事を学ぶことで、生活の質的向上を図ることを目的とした料理教室を年2回開催しています。第1回は管理栄養士さんをお招きし、10月29日に交流ひろばすさき2階調理室にて、季節の野菜などをふんだんに使った栗ご飯と、カボチャや人参などがたくさん入った味噌汁とカップケーキを作りました。

彩りもきれいに出来上がり、11人の参加者からは、「自宅でも出来そう！家でもやってみる！」などの感想もあり、今回の体験が日頃の食生活で活かせる事が出来ればと思います。



★第2回につきましては、令和7年1月28日(火)に交流ひろばすさきにて開催予定です。

多数の皆さまのご参加をお待ちしております。ご案内につきましては令和7年1月に須崎市社会福祉協議会ホームページにてお知らせをいたします。

令和6年度須崎市社会参加支援事業(スポーツ・レクリエーション開催)

この事業は「障害のある方がレクリエーションを通じて、健康増進や社会参加を図ること」を目的に、毎年開催しています。

今年度は、11月9日に黒潮町「黒潮一番館」でカツオの藁焼きたたきの様子を見学し、焼きあがったカツオをおいしくいただきました。その後、NPO 砂浜美術館にてTシャツ・エコバック作り体験を行い、完成後は入野海岸に移動し参加者で「ミニTシャツアート展」を開催し楽しみました。



来年度につきましても障害者スポーツやレクリエーション活動をとおして、健康増進や社会参加につながる活動を企画していきますので、多くのご参加をお待ちしています。

～須崎市社会福祉法人連絡会より～

第3回フードドライブキャンペーンへのご協力ありがとうございました。

いつも
ありがとう

令和6年10月1日～11月30日まで『第3回フードドライブキャンペーン』として市内の各社会福祉法人(須崎福祉会・あおば会・須崎市福祉事業協会・須崎市保育協会・須崎市社会福祉協議会)と各公民館、市内保育園、フジ須崎店、J A土佐くろしお農業協同組合、こうち生協協同組合 須崎支所で食品の寄付受付を行い、市民の皆さまのご協力・善意のおかげでたくさんの食品が集まりました。

集まった食品につきましては、12月16日～20日の間に食品譲渡会を実施することができ、物価高騰などの影響で生活にお困りの方々に食品をお配りさせて頂きました。

須崎市社会福祉法人連絡会とは

須崎市内の社会福祉法人が連携し、個々の法人が持つ資源や専門性をつなぎ合わせ、住民や他機関との連携のもと社会福祉法人の責務である地域における公益的な取り組み実践する事を通じ、地域共生社会の実現に寄与することを目的に発足しました。

令和6年度 第41回 須崎市社会福祉大会

- 日時 : 令和7年1月18日(土) 13:30～15:30
- 会場 : 須崎市立市民文化会館 大会議室(須崎市新町2丁目7-15)
- 主催 : 須崎市・社会福祉法人須崎市社会福祉協議会
- 内容 : ①開会行事
②活動発表 「須崎市ボランティアセンター機能とスマイルポイント」
③講演 「はじめようボランティア活動・広げようボランティアの輪」
高知県ボランティア・NPOセンター所長 間 章 氏
- 対象 : 地域活動やボランティアに関心のある方であればどなたでも
- 問合せ : 社会福祉法人須崎市社会福祉協議会
須崎市社会福祉大会事務局 TEL 0889-42-0736

寄贈のお礼

有限会社 徳久様から車イス1台を寄贈していただきました。

皆様にご協力いただいたアルミ缶回収活動により交換された車イスです。大切に使用させていただきます。ありがとうございました。



社協だよりへのご意見・ご感想はこちらまで

社協だよりへのご意見・ご感想をお寄せください。

また、社協だよりに取り上げてもらいたい地域活動や福祉活動などがありましたらお声がけください。内容により掲載をさせていただきます。



連絡先：須崎市南古市町6番3
0889-42-0736
総務管理係 山内